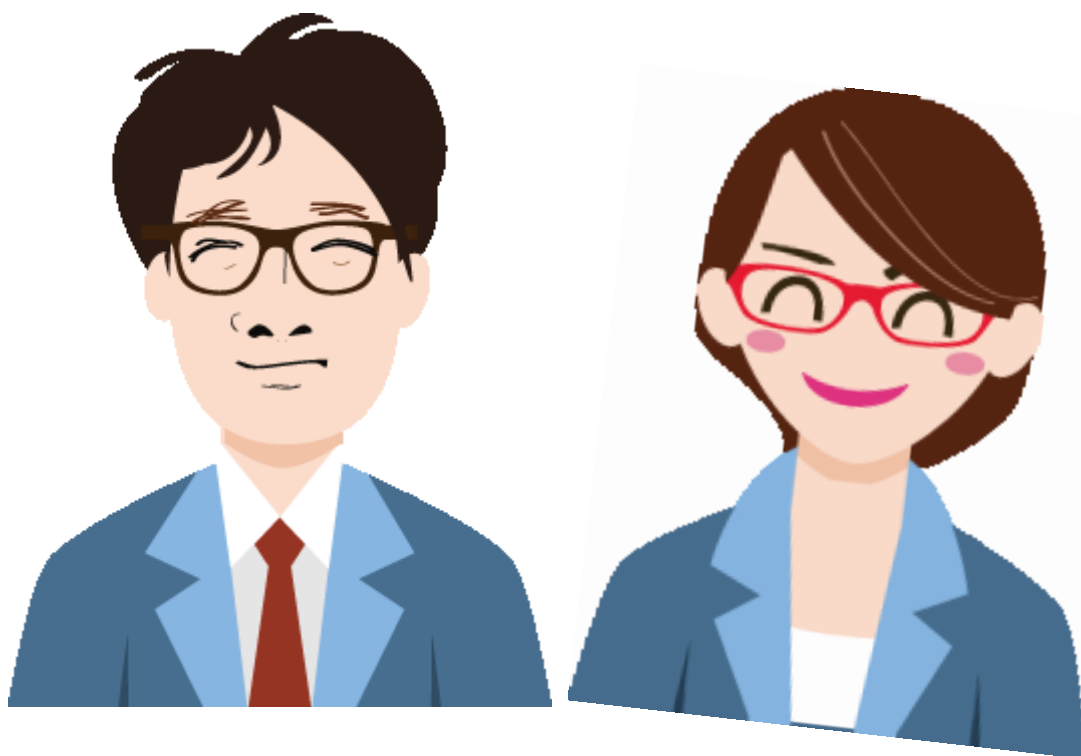


ベテラン講師とフレッシュ講師の！

＜日商簿記 3 級＞

フリーテキスト講座

～固定資産(売却)－②～ 全4枚



Syachou

&

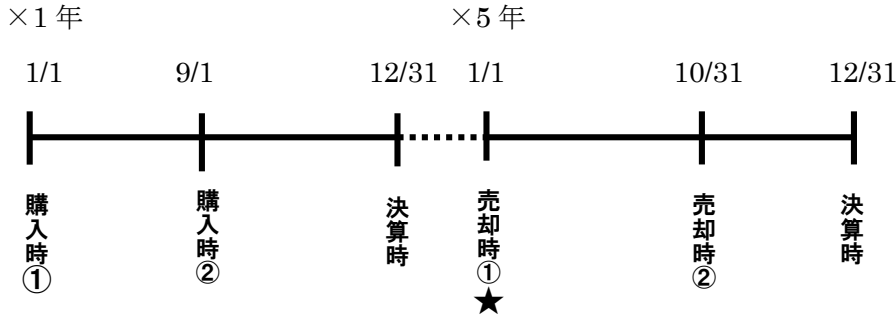
Morisato

弥生カレッジ GMC フリーテキスト講座 (無料動画で公開中)

◆売却

売却にはいる前に、もう一度これまでの流れを復習しておきましょう。

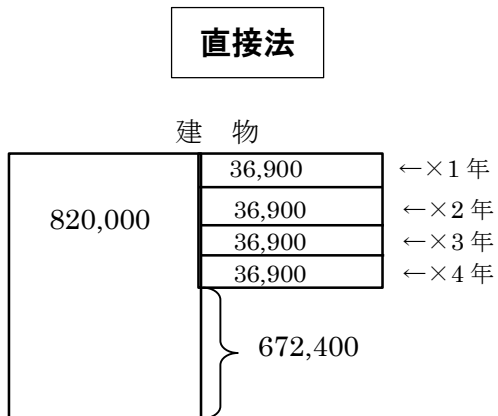
会計期間：1月1日～12月31日



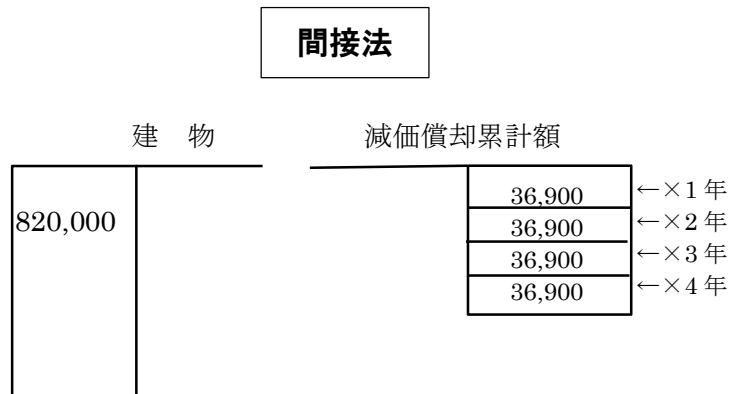
ではまず、×1年の期首に【購入】した建物を×5年の期首に【売却】したとすれば、どのようになるかを確認していきましょう。

～×1年 期首に購入した固定資産を期首に売却するとき～

【例】×5年 1/1 当社は、×1年の 1/1 に購入した建物(取得原価 820,000円 減価償却の累計額 147,600円 残存価額 10%、対応年数 20年、定額法)を、700,000円で売却し、代金は現金で受取りただちに当座預金に預け入れた。



×1年～×4年までの、決算時に毎年減価償却を
しており「建物」勘定から**直接**マイナスしている
ということですね。



×1年～×4年までの、決算時に毎年減価償却を
しており「建物」勘定から「減価償却累計額」勘定
を使って**間接的**にマイナスをしている
ということですね。

よって、今のタイミング(×5年 1/1)での建物の帳簿価額は、672,400 円です。
 そして、今は「売却」について行っています。
 ということは、
 建物という資産が手元から無くなるので、
 仕訳にすると…

直接法

当座預金 700,000 / 建物 672,400
 固定資産売却益 27,600

間接法で記帳を行っており、今回のように売却をしたということは、建物という資産が手元から無くなるので、仕訳にすると…

間接法

減価償却累計額 147,600 / 建物 820,000
 当座預金 700,000 / 固定資産売却益 27,600

では、今度は逆に売却したが「損」をしてしまった時は、どのように処理をするのでしょうか？
 仮に、売却価額が 650,000 円だったとしましょう。(仕訳だけのせませす。)

当座預金 650,000 / 建物 672,400
 固定資産売却損 22,400

減価償却累計額 147,600 / 建物 820,000
 当座預金 650,000
 固定資産売却損 22,400

※売却価額と帳簿価額の差額は「固定資産売却益」「固定資産売却損」になります。

「減価償却累計額」という勘定科目は、本試験では「建物減価償却累計額」や「備品減価償却累計額」という勘定科目になっていることもあります。

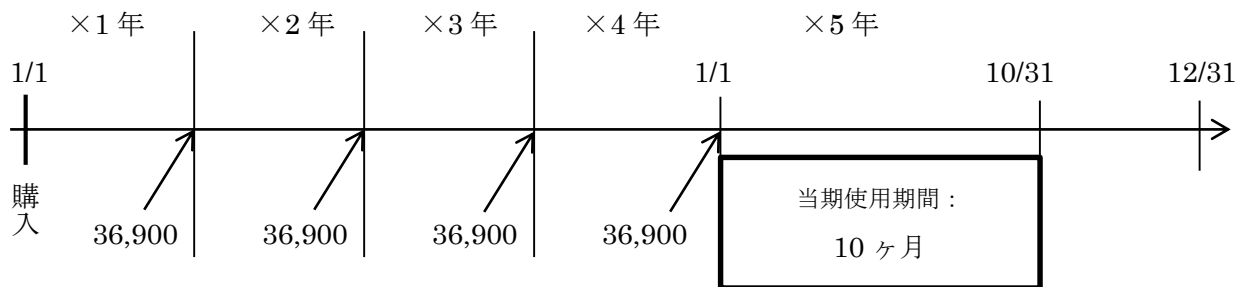


では、最後に期中に売却をした場合…を確認しましょう！あと少しなので頑張ってください！

～×1年 期首に購入した固定資産を期中に売却するとき～

【例】×5年 10/31 当社は、×1年の 1/1 に購入した建物(取得原価 820,000 円 期首の減価償却の累計額 147,600 円、残存価額 10%、対応年数 20 年、定額法)を、700,000 円で売却し、代金は現金で受取りただちに当座預金に預け入れた。

期中に売却しているということは…当期首～10ヶ月間は使用しているということですね？



と、いうことは…当期も 10 か月間は固定資産を使用しているので、使った分の減価償却費を月割計算して計上しなければいけません。

$$1 \text{ 年分の減価償却費} : 820,000 \text{ 円} \times 0.9 \div 20 \text{ 年} = 36,900 \text{ 円} / \text{年}$$

$$\text{当期分の減価償却費} : 36,900 \text{ 円} \times \frac{10 \text{ ヶ月}}{12 \text{ ヶ月}} = 30,750 \text{ 円} / 10 \text{ ヶ月分}$$

では、仕訳を確認しましょう。

直接法			間接法	
減価償却費 30,750	/ 建物 672,400		減価償却累計額 147,600	/ 建物 820,000
当座預金 700,000	/ 固定資産売却益 58,350		減価償却費 30,750	/ 固定資産売却益 58,350
			当座預金 700,000	/ 固定資産売却益 58,350

では、今度は逆に売却したが「損」をしてしまった時は、どのように処理をするのでしょうか？
仮に、売却価額が 620,000 円だったとしましょう。

減価償却費	30,750	/	建 物	672,400	減価償却累計額	147,600	/	建 物	820,00
当座預金	620,000				減価償却費	30,750			
固定資産売損	21,650				当座預金	620,000			
					固定資産売損	21,650			

※動画の 40 分前後で画面が編集の為、切替わっておりますがご了承ください。

期中売却の仕訳の方法は、2 級につながる処理方法です。
最初は慣れないと思うので、同じ問題でいいので答えを見ながら
繰り返し解いて、確認していこう。



過去問チャレンジ！※直近の過去問のみ載せています。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 固定資産の購入…132 回第 1 問-③ | 139 回第 1 問-② |
| 固定資産の売却…132 回第 1 問-② | 134 回第 1 問-① |
| 137 回第 1 問-③ | 138 回第 1 問-② |